



KONICA MINOLTA

## 秋の星座解説

---

S-307 (13分57秒)

コニカミノルタプラネタリウム株式会社

秋。吹いてくる風に爽やかさを感じる季節。稲が黄金に色付き、栗、梨、葡萄などの果実が実ります。

晴れた空は高く澄み渡り、その様子は『天高く馬肥ゆる秋』とも表現されます。

やがて、木々の葉が紅葉し、色付いた葉が散りはじめ、日毎に、日が沈む時刻が早くなります。

夕焼けを見送り、夜になるのを待ちましょう。

※音楽が終わる

## 方位

M

秋の星空です。

秋の夜は長くなり、人々は、月や星を眺めたり、読書や夜なべにいそしみます。澄んだ夜空に、星たちが瞬いています。でも、明るい星が少なく、どこか寂しげに見えます。

頭の方を見上げて下さい！

四つの星が四辺形の形に並んでいるのが分りますか？

これが、『秋の四辺形』。秋を代表する星の並びです。

辺りに明るい星がなく、2等星で作られたこの四辺形は、比較的見つけやすい星たちです。

## 秋の四辺形

星座を探すときに手がかりになる星の並びとして、冬、春、夏には、それぞれの季節の大三角と呼ばれる星の並びが知られています。

ところが、秋だけは『四辺形』なんですね。

でも、この四辺形を目印にすると、秋の星や星座を探す時の手がかりとなるので、覚えておいてください。

## M

さて、この四辺形は、ある動物の胴体に当たることでも知られています。

その動物とは、羽を持ち、空を飛ぶ馬、天馬ペガスス、『ペガスス座』です。

もちろん、この様な馬は、実際にはいません。

ギリシャ神話に登場する幻の動物なのです。

星の並びから、この姿を想像するのは難しいかもしれません。

でも、この馬、体の後ろ半分がありませんね？

それは、あまりにも早く空を飛んだので、後ろ半分をどこかに置き忘れた・・・・、なんて、言う話があります。

『ペガスス座』の胴体の部分だった『秋の四辺形』ですが、実は、四つの星の一つ、

この星は『アンドロメダ $\alpha$ 』と呼ばれ、他の星座の星もあるのです。

その星座の名前は、『アンドロメダ座』。

アンドロメダ座の星数個

## 秋の四辺形

### アンドロメダ $\alpha$

## アンドロメダ座

この星たちを線で結ぶと、アルファベットのΛのような形に並んでいます。これが『アンドロメダ座』の星たちです。

『アンドロメダ座』は、ギリシャ神話によると、エチオピアの王女、アンドロメダ姫の姿だと言われています。

このアンドロメダ姫の姿は、両手首が鎖でつながれています。

アンドロメダ姫の母、カシオペヤ王妃は、アンドロメダ姫の美しさを大変自慢していました。ある日のこと、うつかり、その美しさは、海の妖精よりも勝ると言つてしまつたのです。

そのことを知った海の神ポセイドンは怒り、海の怪物、化け鯨を暴れさせました。

ポセイドンの怒りを納めるには、化け鯨の生けにえとして、アンドロメダ姫を、波の打ち寄せる岩に鎖で縛りつけるしかなかつたのです。

星座の絵は、その時の様子だと言われています。

※音楽終わる

実は、アンドロメダ姫の母、カシオペヤ王妃も北の空で星座になっています。

アルファベットのWの形。  
そんな並びをした五つの星を探してみましょう。

M

(間)  
見つかりましたか？

(間)

## カシオペア座

ここにありました。

この星の並びから、カシオペヤ王妃の姿は想像しにくいかもしれません。

それでは、星に絵を重ねて見ましょう。

『カシオペヤ座』です。

カシオペヤ王妃が両手を上げ、椅子に座った姿です。

アンドロメダ姫の父、ケフェウス王の姿も、この星空にあります。

『カシオペヤ王妃』の背中の先を見て下さい。

いびつな5角形になる星の並びを探します。

この星座も、その星の並びからは、姿を想像しにくいですが、これが『ケフェウス座』です。

これで、古代エチオピアの王と王妃、そして王女が揃いました。

物語に登場した化け鯨も、星座になっています。

今度は、『秋の四辺形』をつかって、鯨の星座を探してみましょう。

『秋の四辺形』の左側の辺、これをずっと下に伸ばしてゆくと・・・、明るい星に行き着きます。

これが化け鯨の尾っぽにあたる星、『デネブカイツス』です。

この星から左側に、鯨の体となる星の並びがあります。

化け鯨は、星座となり『くじら座』になりました。

## ケフェウス座

## 秋の四辺形

## デネブカイツス

## くじら座

今にもアンドロメダ姫に襲いかかろうとしている姿が、星座の絵となっています。

※音楽が終わる

M

化け鯨の生けにえとして、鎖につながれたアンドロメダ姫の物語には、続きがあります。アンドロメダ姫を化け鯨が飲み込もうとした瞬間、勇敢な若者が化け鯨に向かって、戦いを挑みました。

その若者の名は、ペルセウス。ギリシャ神話では、アルゴスの王子、ペルセウスだと伝えられています。

ペルセウスは、見たものを石に変えてしまう怪物メデューサを退治した帰りでした。

ペルセウスは、手に持ったメデューサの首を使い、化け鯨を石に変えて退治したのです。

アンドロメダ姫は無事に助け出され、二人は結婚したと、ギリシャ神話では伝えられています。

もちろん、このペルセウスも星座になっています。今度はカシオペヤ王妃の顔の先を見ていきます。

すると、漢字の人のような形に並んだ星の並びがあります。

これが、『ペルセウス座』です。  
星座では、怪物メデューサの首を持ち、  
剣を振り上げている英雄ペルセウスの姿が  
描かれています。

ギリシア神話『古代エチオピア王家の物語』が  
星座として星空に描かれているのです。

※音楽終わり

カシオペア座

ペルセウス座

アンドロメダ座

## 秋の四辺形

それではもう一度、  
『秋の四辺形』に戻りましょう。

『秋の四辺形』の右側の辺を下に伸ばして  
ゆきます。

## フォーマルハウト

すると、明るい星に行きあたります。  
これが一等星の『フォーマルハウト』  
。秋の星空の一等星はただ一つ、  
南の空に光る『フォーマルハウト』だけです。

ポツンと一つだけ明るく光っているので、  
『秋の一つ星』とも呼ばれています。

この『フォーマルハウト』は、  
『みなみのうお座』の星になります。

『フォーマルハウト』とは、  
魚の口という意味があります。

確かに開いた口の部分に輝いていますね。

その聞いた口に、流れ込んでいるのが、  
『みずがめ』から流れ出た水だと  
言われています。

みずがめを持つ少年、  
『みずがめ座』です。

この少年の名前は、ガニメデ。  
ギリシア神話では、

大神ゼウスが化けたワシにさらわれた、  
トロヤの王子ガニメデだと言われています。  
ガニメデは、オリンポス山で、神々のお酒の席で、  
お酒をつぐために、  
大神ゼウスに連れてこられました。

ですから、  
この水瓶から流れ出ているのは水ではなく、  
お酒だとも言われています。

## みずがめ座

もし、お酒なら、『みなみのうお座』の魚は、  
ずいぶん酔っぱらっているかも知れませんネ。

※音楽終わり

M

秋は、他の季節に比べて気候が穏やかで、  
澄んだ空気の中で星空を楽しむことが出来ます。

アンドロメダ、カシオペヤ、ケフェウスなど、  
壮大な物語にまつわる星座たちが見られます。

神話や物語の世界を思い起こして、  
星空を眺めると楽しさが一層増します。

秋の星座を見つけるキー・ポイントは、  
『秋の四辺形』でしたね。

## 秋の四辺形

今度は本当の星空で、今日紹介した星や星座を  
搜してみて下さい

夜空に、星や星座を見つける喜びや楽しさ、  
きっと感じていただけると思います！

## 星座絵オーナメント

END